

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月24日
19時00分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007030000	福祉指導監査室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00365	社会福祉法人等認可・指導監査事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	00								
細節	00								
予算事業	10246	01	03	01	01	11	01	01	社会福祉法人等認可・指導監査事業（社会福祉総務費）
所属長	宮田 信樹	担当者（内線）曾我（669-406）							
根拠法令等	社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法、介護保険法、障害者総合支援法他								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	介護保険法の改正により、指定居宅介護支援事業者の指定及び指導権限が移譲され市の事務となる。								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	所管の社会福祉法人、社会福祉施設、指定居宅サービス事業者、指定障がい福祉サービス事業者等		
目標	適正な社会福祉法人等の運営と円滑な社会福祉事業の確保を図る。		
結果	利用者に質の高い安定した福祉サービスの提供を行う。		
事業概要	社会福祉法人の設立認可及び指導監査、並びに大阪府福祉行政事務に係る事務処理の特例に関する条例（平成12年大阪府条例第8号）等に基づき、児童福祉施設の指導監査、指定居宅サービス事業者及び指定障がい福祉サービス事業者等の指定・指導監査等を行っている。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,787	7,576	9,510	11,997	8,805
人件費職員数(人)	18.00	18.03	17.00	16.03	17.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	147,060	142,437	136,884	125,403	135,065
総事業費(A+B)	154,847	150,013	146,394	137,400	143,870
特定財源(C)	41,498	33,160	36,338	42,896	34,195
国	0	0	0	216	0
府	41,475	33,141	36,319	42,666	34,181
その他	23	19	19	14	14
市負担(D)	113,349	116,853	110,056	94,504	109,675
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	113,349	116,853	110,056	94,504	109,675
財源計(C+D)	154,847	150,013	146,394	137,400	143,870

所属	福祉指導監査室
事務事業番号	00365

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	社会福祉法人及び児童福祉施設の指導監査、認可外保育施設の立入調査	件	目標値	114.00	129.00	139.00
			実績値	117.00	123.00	
			達成度(%)	102.60	95.30	
目標値の積算方法	社会福祉法人は1～4年の範囲内で運営状況に応じて決定。児童福祉施設及び認可外保育施設は毎年実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,282.16	1,117.07	
			一般財源(千円)	998.74	768.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	指定居宅サービス事業者及び指定障がい福祉サービス事業者等の実地指導	件	目標値	324.00	275.00	352.00
			実績値	243.00	329.00	
			達成度(%)	75.00	119.60	
目標値の積算方法	概ね3～6年に1回、各事業者等への実地指導の実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	617.34	417.63	
			一般財源(千円)	480.88	287.25	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	指導監査等を実施することにより、適正な社会福祉法人等の運営と円滑な社会福祉事業等の確保につながっています。	達成状況	多くの社会福祉法人等で運営上の改善が見られました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：事業費総額が増加となったのは、平成29年度及び平成30年度の法改正に対応するためのシステム改修に費用を要したため。) 事業費削減及び財源確保に向けた取組として、今後事務の効率化が必要である。具体的には、認可・指定・届出等に係る事務は法律等で定められており、指導監査等における実施手順については概ね確立しているものの、監査対象となる施設や事業所が増加傾向にあるため、より効率的な指導監査の手法等を取り入れながら、適宜事務の改善に努めることとする。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。今後とも事業者に対して適宜指導や処分等を行い、福祉サービスの質の確保を図る。</p>		

事務事業分析シート

所属名	福祉指導監査室	事業名	社会福祉法人等認可・指導監査事業	事業区分	その他
事務事業番号	00365				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	福祉指導監査室	事務事業番号	00365
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

法律等に基づき、市による実施が義務付けられている事務事業です。当該事業を確実に実施することによって質の高い福祉サービスの維持・向上につながり、市民ニーズは高いと考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>関係法令等に基づき、指導監査等を実施しており、著しい不正が認められた事業所には、数回にわたり監査を実施しています。今後も法令等を遵守し、公平かつ適正な執行に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

・平成26年10月から大阪府・政令指定都市及び中核市は、所管する指定居宅サービス事業者及び指定居宅介護支援事業者の新規指定申請・更新申請時に手数料を徴収することとなりました。本市としても、今後の法改正による事務移管や中核市への移行等を踏まえながら、近隣他市の動向等も注視し、手数料徴収に係る方向性を定めていきます。

・社会福祉法人制度改革に伴い関係法令等が改正され、法人の公益性・非営利性を担保する観点から、経営組織の強化、運営の透明性の向上、財務規律の確立、社会貢献活動の責務等が法的に義務付けられたことにより、今後は社会福祉法人に対し法令等の違反について必要な勧告を行う等、所轄庁としての関与が一層強まることとなります。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
13時19分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007030000	福祉指導監査室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01732	さんくす事務室管理事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	00								
細節	00								
予算事業	11876	01	03	01	01	16	01	01	さんくす事務室管理事業（社会福祉総務費）
所属長	宮田 信樹			担当者（内線）曾我（669-406）					
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成29年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	福祉指導監査室に勤務する職員及び来室者等		
目標	福祉指導監査室内の秩序維持及び安全確保		
結果	公務の適正な執行の確保及び来室者等の安全確保		
事業概要	さんくす事務室の施設維持管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	総合建物管理株式会社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	清掃業務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	6,718	6,634	6,705
人件費職員数(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	0	0	14,770	14,686	14,650
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	14,770	14,686	14,650
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	14,770	14,686	14,650
財源計(C+D)	0	0	14,770	14,686	14,650

所属	福祉指導監査室
事務事業番号	01732

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市エコオフィスプランに基づきエネルギー節約に取り組めます。	目標	吹田市エコオフィスプランに基づき、室内の電気使用量の節電に努めます。
成果内容	室内のエアコン使用等、節電を呼びかけました。	達成状況	ブラインドや窓の開閉をこまめに行い、室温の調整をすることで、節電に取り組めました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:予算の範囲で適正な執行を行っているため。) 事業費削減及び財源確保に向けた取組として、事務の効率化が必要である。具体的には、平成28年7月末に事務室が本庁舎からさんくす3番館へ移転したことにより、平成29年度からは事務室の管理も福祉指導監査室の所管事業となっているが、主な支出が賃料や共益費等の施設に係る固定費用となっていることから、エコオフィス活動の意識を一層高め節電に取り組むことで、運用コストの削減を図る。</p> <p>【今後の方向性】 事業費の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	福祉指導監査室	事業名	さんくす事務室管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01732				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	82	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下四捨五入))		

所属名	福祉指導監査室	事務事業番号	01732
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--